

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

問4 鳥取県が実施している施策等について、政策分野別のあなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

問4-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

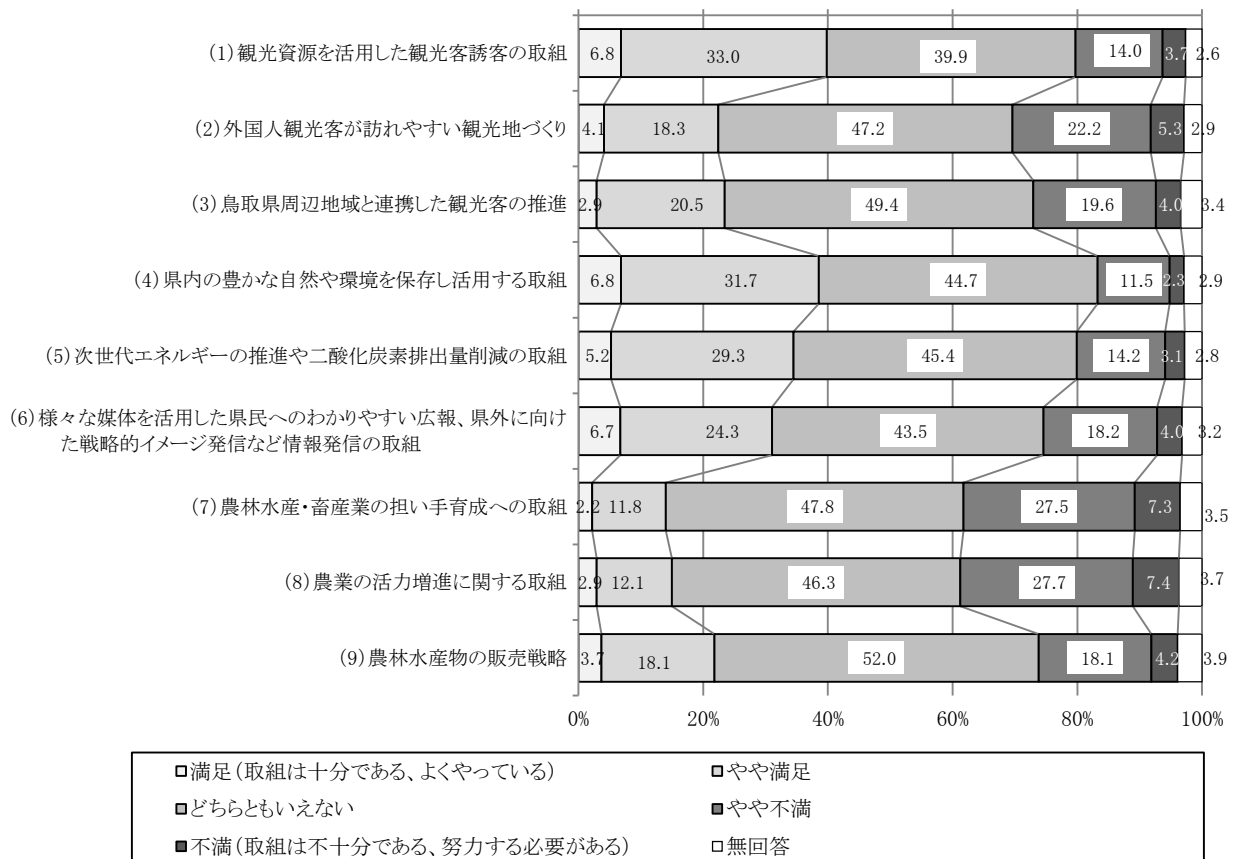
～豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組に『満足』

農林・畜産業の担い手育成や農業の活力増進の取組には『不満』～

豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「観光資源を活用した観光客誘客の取組」が39.8%(満足:6.8%、やや満足33.0%)が最も高く、次いで「県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組」が38.5%、「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減の取組」が34.5%、「様々な媒体を活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信など情報発信の取組」が31.0%と続き、自然を活かした観光の取組や自然の保存、次世代エネルギーの推進等の取組や各種媒体を活用した県民への情報発信に対する取組を評価している。

図6 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

(n=1,334)



問4-1-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組について、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～農林水産・畜産業の担い手育成や農業の活力推進を半数近くが優先すべき～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」が47.5%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が41.8%、「農林水産物の販売戦略」が36.1%、「観光資源を活用した観光客誘客の取組」が31.8%、「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」が29.9%と続き、農業振興に関連した取組と観光振興に関する取組が上位を占めている。

年代別でみると、40～60歳代で「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」「農林水産物の販売戦略」等の農業関連の意見が多く、10～40歳代で「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」「観光資源を活用した観光客誘客の取組」等の観光関連を優先すべきとの意見が多くみられる。

性・年代別でみると、男性の10～40歳代で「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」、50～70歳代で「農業の活力増進に関する取組」の割合が高い。また女性の40～60歳代で「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減の取組」の意見が高くみられる。

図7 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度
(n=1,334)

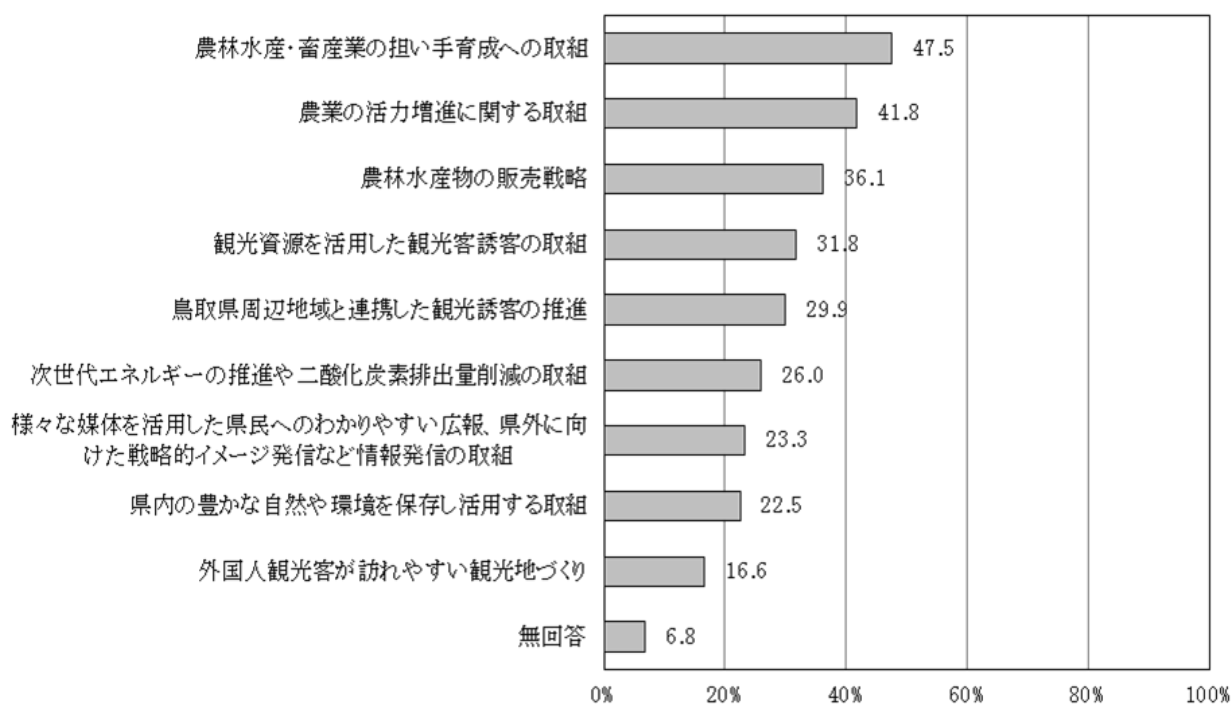
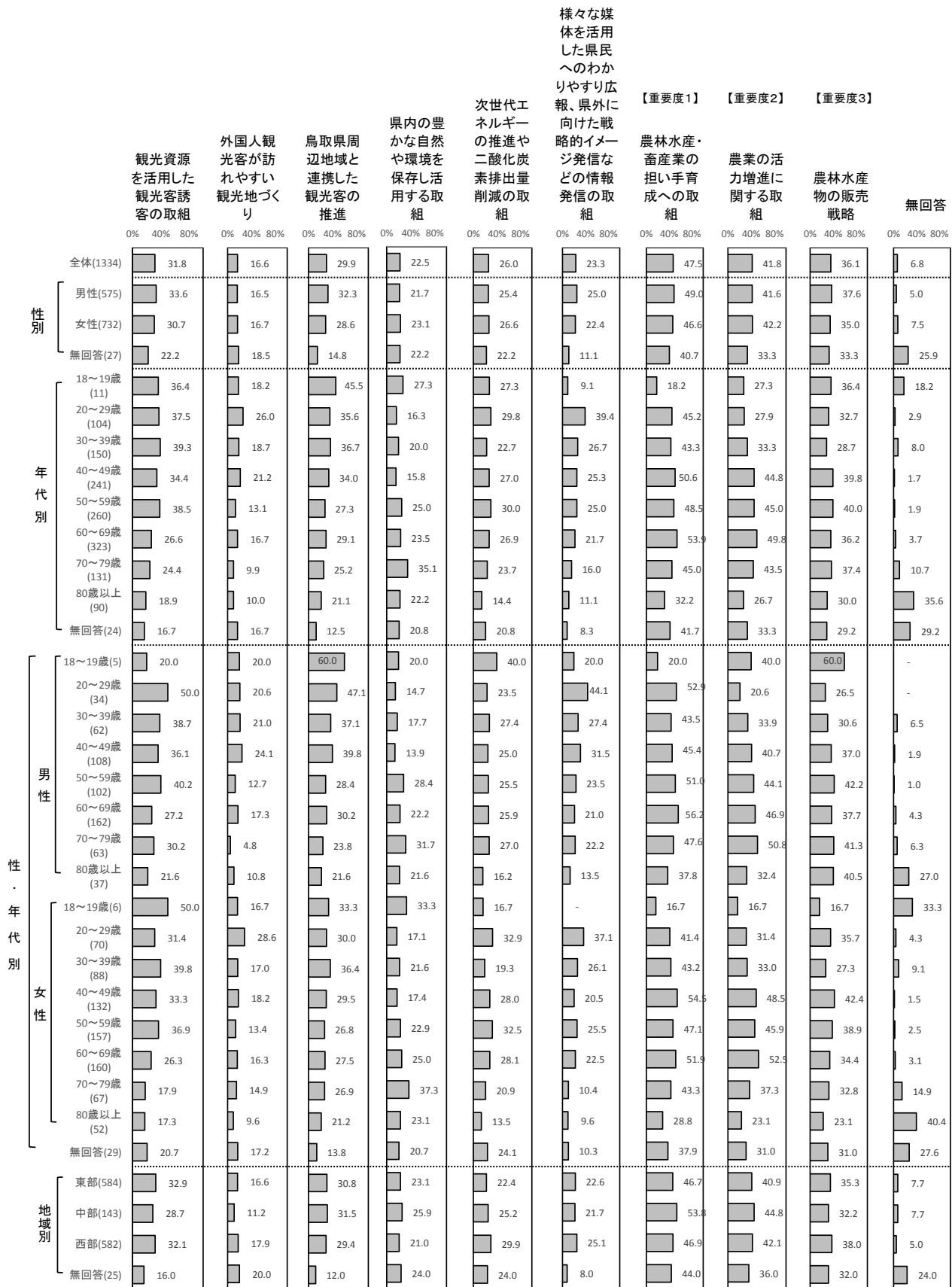


図8 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる(今後優先すべき項目)



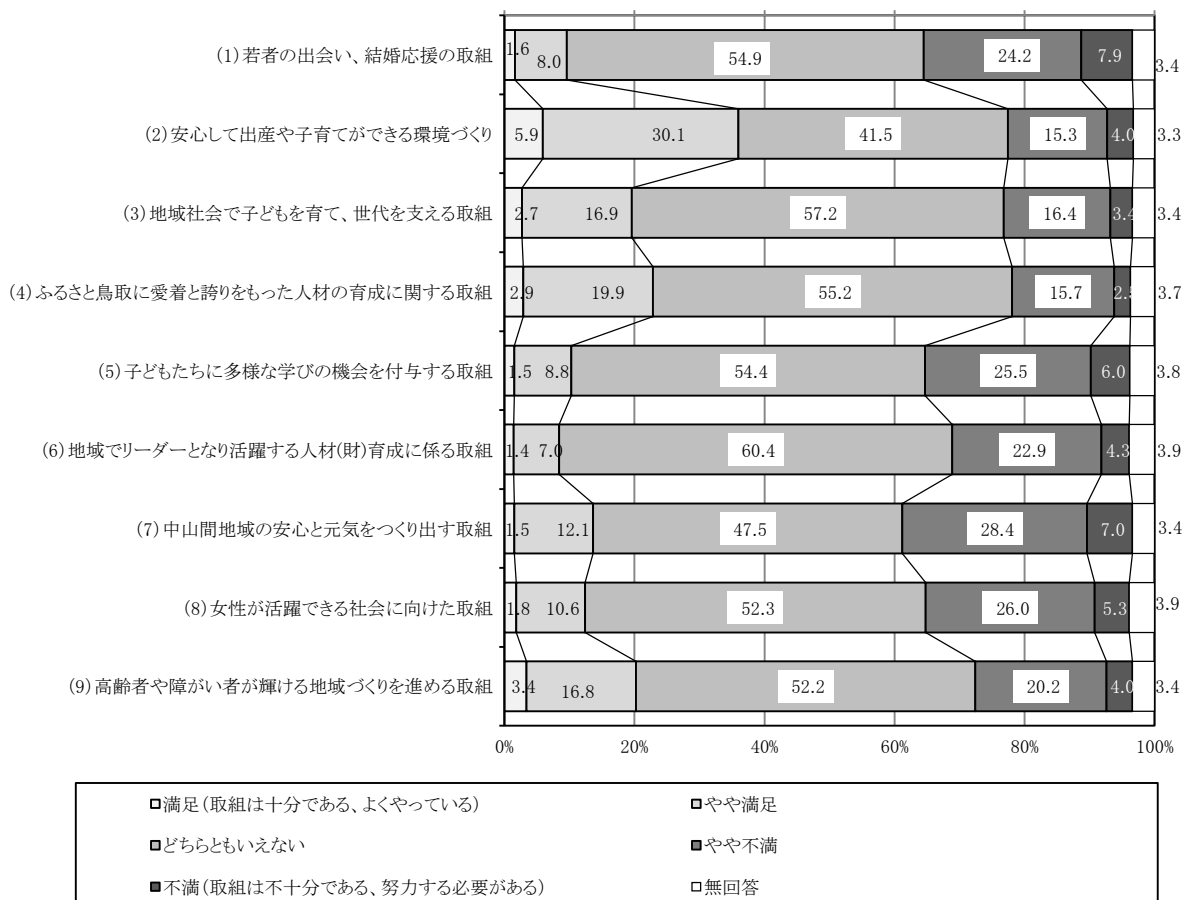
問4-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～安心して出産や子育てができる環境には『満足』と感じているが、
若者への結婚応援や中山間地域の支援については『不満』を感じている。～

人々の絆が結ばれた鳥取に住むための取組について、満足度が不満度を上回っている項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が 36.0% (満足:5.9%、やや満足:30.1%) が最も高く、次いで「ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組」が 22.8%となっている。

一方、不満度が満足度を上回っている項目は、「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」が 35.4% (不満:7.0%、やや不満:28.4%) と最も高く、次いで「若者の出会い、結婚応援の取組」が 32.1%、「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」が 31.5%、「女性が活躍できる社会に向けた取組」が 31.3%、「地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組」が 27.2%と続いている。

図9 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度
(n=1,334)



問4-2-1 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組について、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。

～出産や子育ての環境づくりは4割が今後も優先すべきと回答し、
中山間地域への支援についても重要度が高いと回答～

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住むに対して、今後優先すべき重要度は、上位に「安心して出産や子育てができる環境づくり」が 42.6%と最も高く、次いで「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」が 39.4%、「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」が 34.3%、「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」が 33.1%、「女性が活躍できる社会に向けた取組」が 31.0%、「若者の出会い、結婚応援の取組」が 30.1%と続いており、中山間地域の活性化、高齢者・障がい者や子育て、若者の出会い、子どもの学びの機会への支援策や取組が重要とする意見が上位となっている。

性別でみると、男性は「若者の出会い、結婚応援の取組」「ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組」、女性は「女性が活躍できる社会に向けた取組」が高くなっている。

性・年代別でみると、男性の10～20歳代で「若者の出会い、結婚応援の取組」、10～40歳代で「安心して出産や子育てができる環境づくり」、30～40歳代で「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」、20～40歳代で「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」が高く、女性の10～30歳代で「安心して出産や子育てができる環境づくり」、20～50歳代で「女性が活躍できる社会に向けた取組」という優先すべき重要項目の意見が高くみられる。

図 10 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度

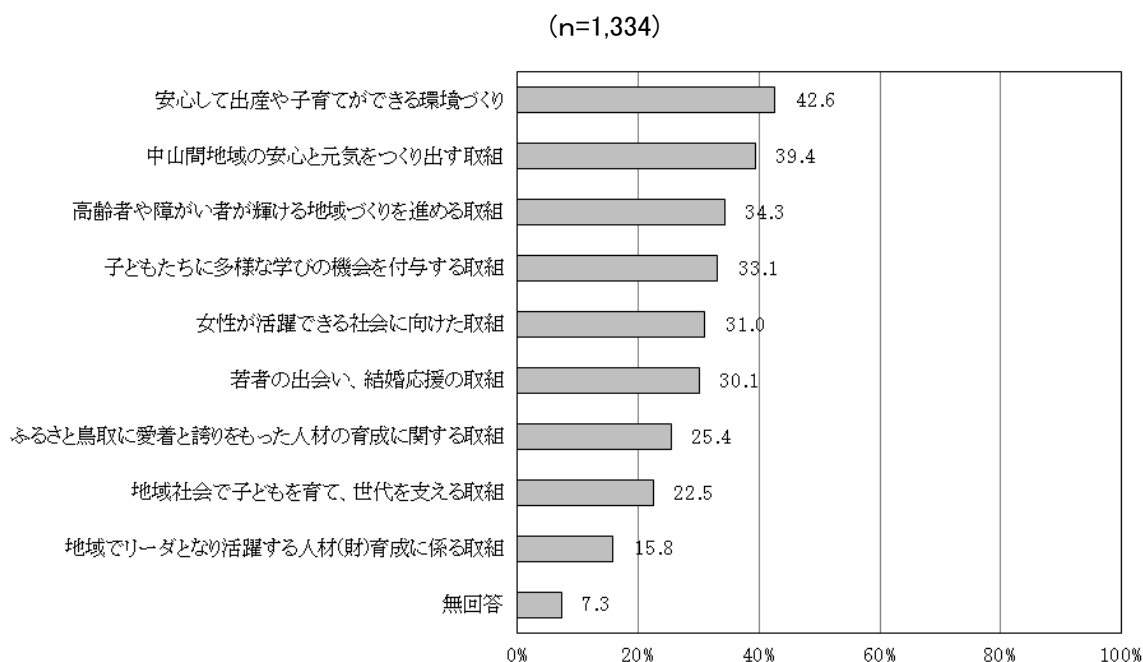
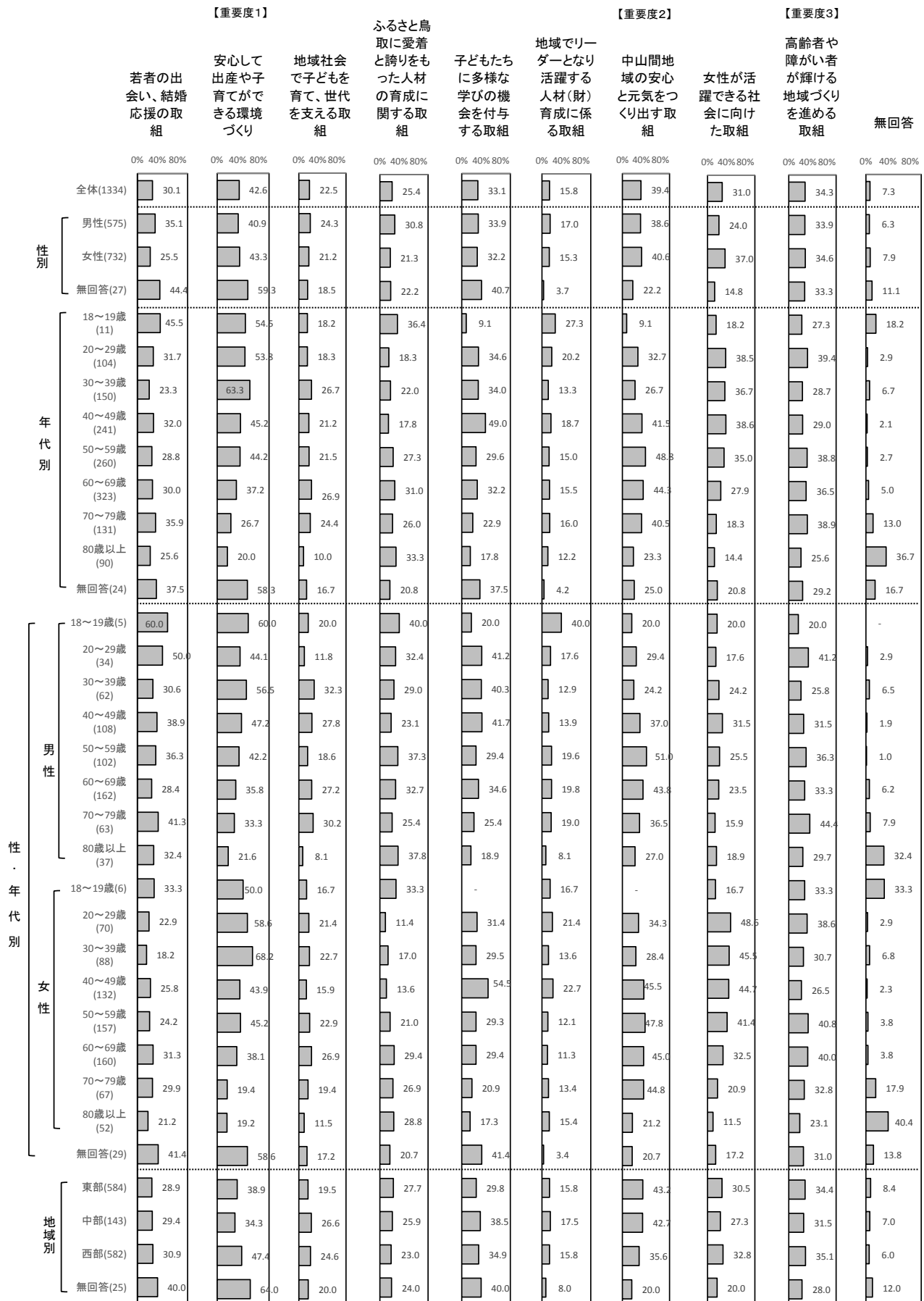


図 11 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(今後優先すべき項目)



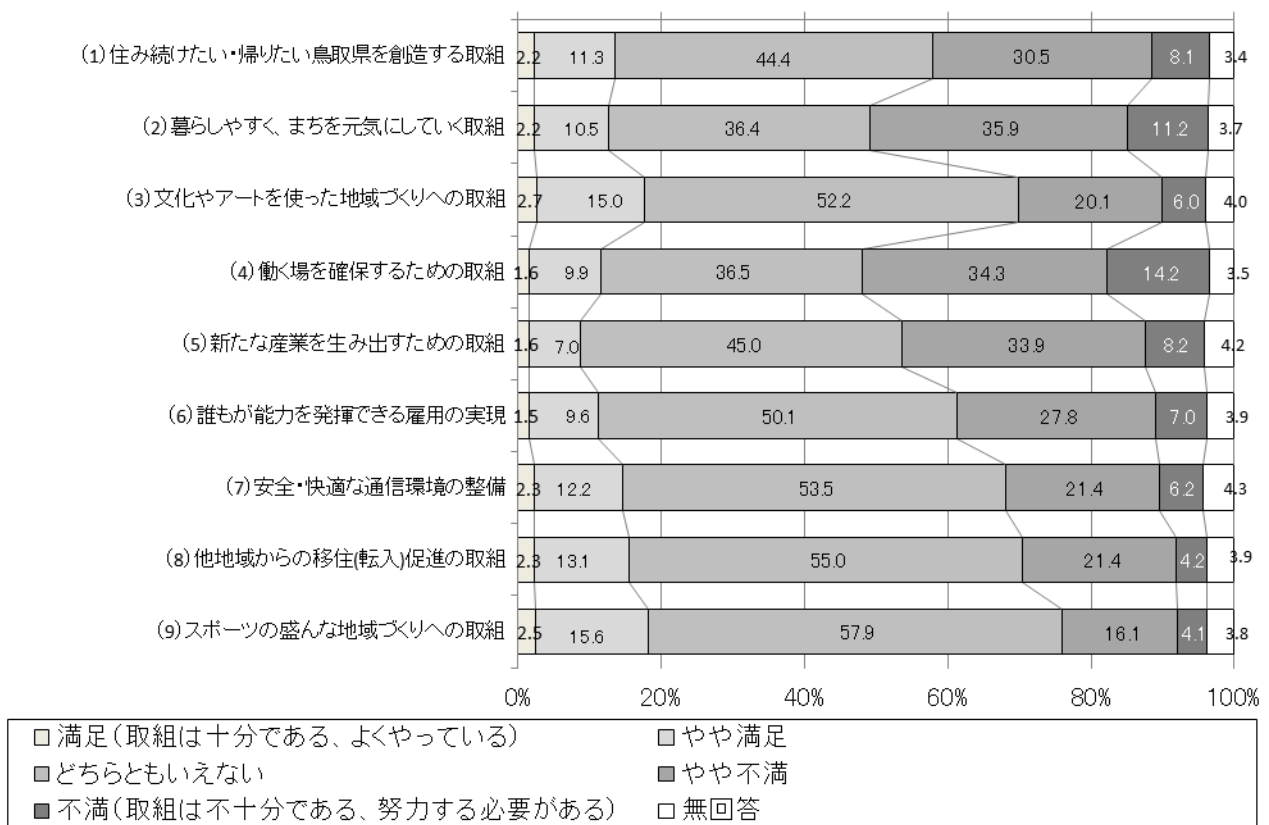
問4-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～文化やアート・スポーツ面の『満足』は2割弱感じているが、
働く場の確保や新たな産業の創出に対しては『不満』を感じている。～

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむための取組の満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「スポーツの盛んな地域づくりへの取組」が18.1%と最も高く、次いで「文化やアートを使った地域づくりへの取組」が17.7%と続いているが、各項目とも不満足度(不満・やや不満の計)が満足度(満足・やや満足の計)を上回っている。

不満足度(不満・やや不満の計)の高い項目の上位は、「働く場を確保するための取組」が48.5%、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が47.1%、「新たな産業を生み出すための取組」が42.1%、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が38.6%と続き、「雇用の場、元気なまちづくり、新たな産業創造、住み続けたい鳥取県を創造する取組」に不満の意見が多くみられる。

図 12 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度
(n=1,334)



問4-3-1 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組について、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～働く場の確保や住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造するための取組が優先重要～

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむために重要な取組は、「働く場を確保するための取組」が58.2%と半数以上を占め、次いで「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が52.8%、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が43.2%、「誰もが能力を発揮できる雇用の実現」が31.0%と続き、働く場の確保や住み続けたい・(鳥取に)帰りたいと思うようなまちづくりの取組が必要だと答えている。

年代別にみると、20～30歳代は「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」「安全・快適な通信環境の整備」、40～50歳代は「働く場を確保するための取組」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」、60～70歳代は「他地域からの移住(転入)促進の取組」の回答が多くみられる。

性・年代別でみると、男性の20歳代は「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」、40～60歳代は「働く場を確保するための取組」の意見が多くみられる。女性の20～30歳代では「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」、40～50歳代は「働く場を確保するための取組」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」の意見が多くみられる。

図 13 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度
(n=1,334)

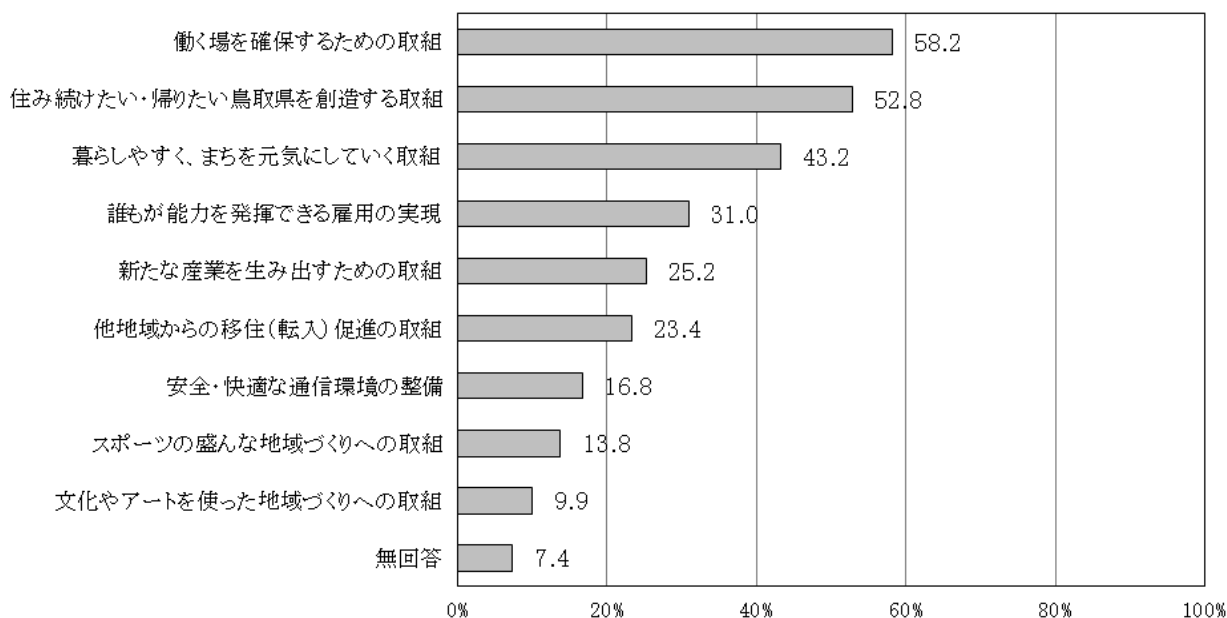
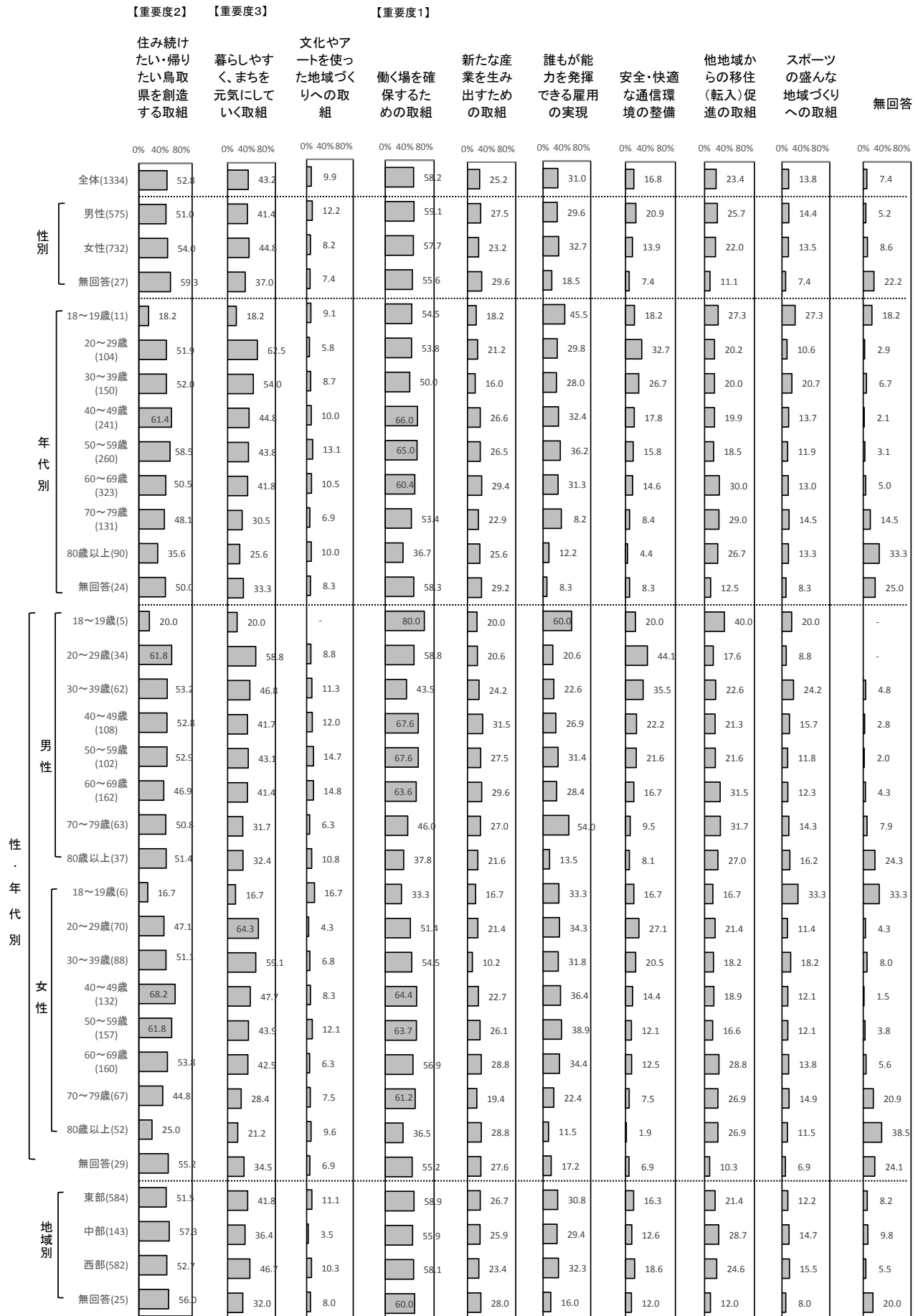


図 14 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ(今後優先すべき項目)



問4-4 「県政のさまざまな取組」に対する満足度

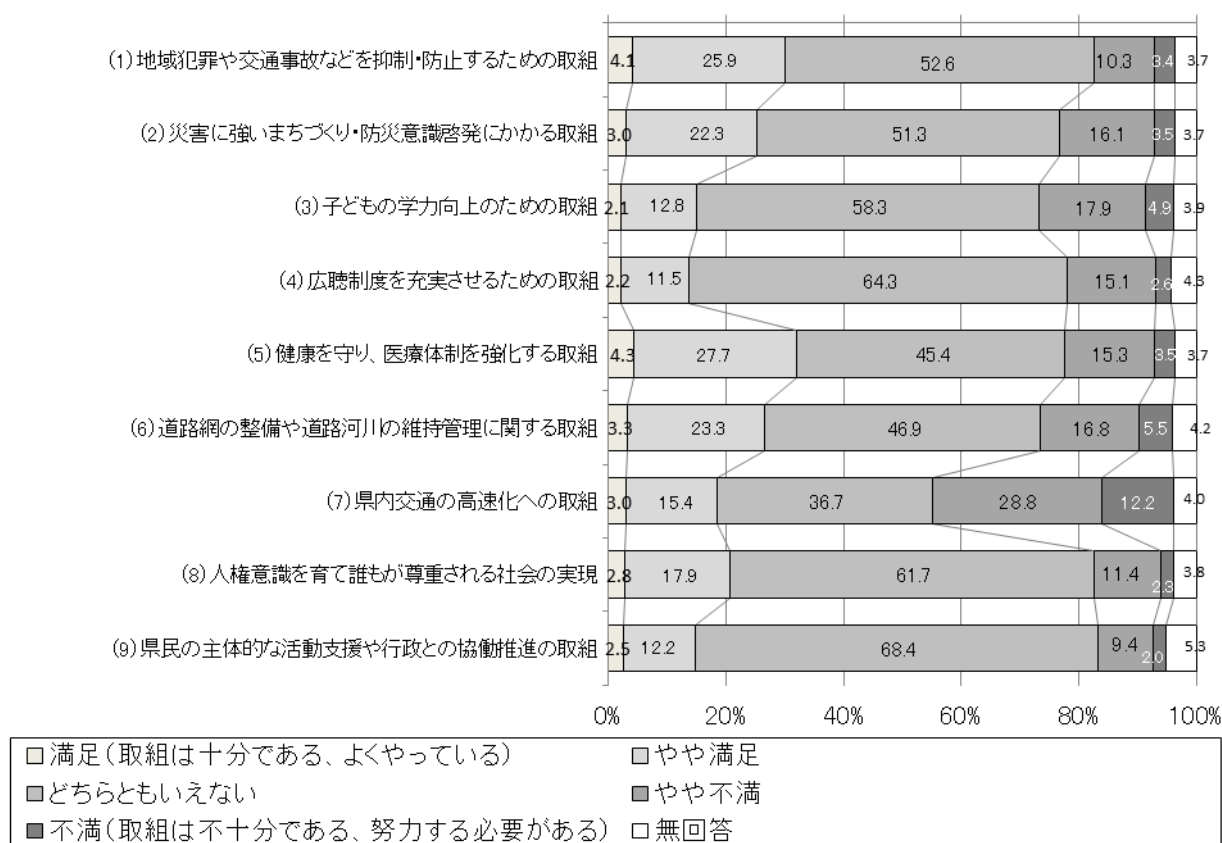
～地域犯罪や交通事故等の抑制・防止や医療体制の強化は「満足」
道路網の整備等県内交通の高速化、子どもの学力向上の取組には「不満」～

県政のさまざまな取組の満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「健康を守り、医療体制を強化する取組」が32.0%と最も高く、次いで「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組」が30.0%、「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が26.6%、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかるといえる取組」が25.3%と続いている。

一方、『満足度(満足・やや満足の計)』を上回る『不満度(不満・やや不満の計)』の高い項目は、「県内交通の高速化への取組」が41.0%、「子どもの学力向上のための取組」が22.8%となっている。

図 15 「県政のさまざまな取組」に対する満足度

(n=1,334)



問4-4-1 「県政のさまざまな取組」について、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～医療体制の強化、災害に強いまちづくり、県内交通の高速化の整備が重要～

県政のさまざまな取組について重要な取組は、「健康を守り、医療体制を強化する取組」が48.0%と最も割合が高く、次いで「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が47.3%と、医療体制強化と災害・防災意識啓発が5割近くを占めている。また「県内交通の高速化への取組」が44.8%、「子どもの学力向上のための取組」が36.9%と続き、高速道路への期待と子どもへの学力向上にも大きな関心がある。

性別でみると、男性は「県内交通の高速化への取組」「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」、女性は「健康を守り、医療体制を強化する取組」「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」の意見が多くみられる。

年代別でみると、20～50歳代は「県内交通の高速化への取組」、30～40歳代は「子どもの学力向上のための取組」の割合が高い。

性・年代別でみると、男性の20～30歳代は「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」、また男性の20歳代は「県内交通の高速化への取組」が多く、女性の20～30歳代は「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」、50～60歳代では「健康を守り、医療体制を強化する取組」の割合が高い。

図 16 「県政のさまざまな取組」重要度

(n=1,334)

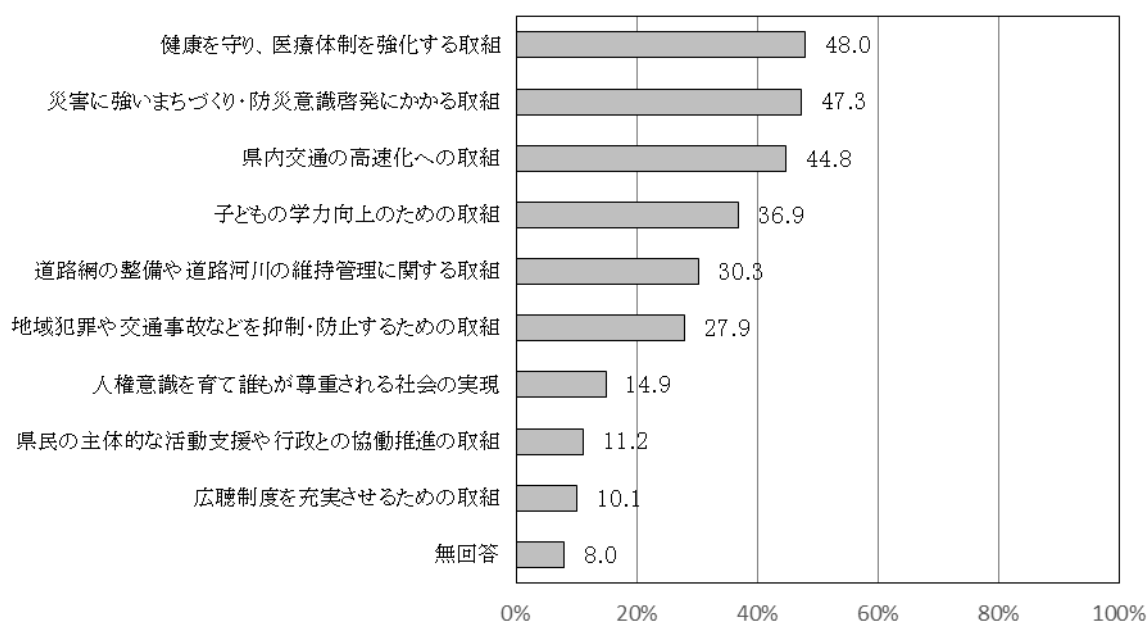


図 17 県政のさまざまな取組(今後優先すべき項目)

